

大分森林管理署交渉（全国林野関連労働組合大分森林管理署分会）

議事概要

1 日時 令和2年9月16日（水） 17:30～18:30

2 場所 大分森林管理署会議室

3 出席者

大分森林管理署

猪島 明久 署長

同

高木 勝一 次長

同

古閑 智之 総括事務管理官

全国林野関連労働組合大分森林管理署分会

廣田 光春 委員長

同

植薄 和彦 副委員長

同

蒲池 勝也 副委員長

同

井上 和也 書記長

同

木下 昂大 執行委員

4 交渉事項

業務運営に係る労働条件等の改善について

5 議事概要

組合）前々からの要求事項である青山森林事務所首席森林官の、直川森林事務所の併任解消を求める。

当局）本件については前回の交渉、また以前からも要望があることは承知している。

このことから、署長会議や各種会議による出局の際には、機会ある毎に局総務課へ併任解消を伝えているところであるが、定年退職者と新規採用者のアンバランスによる要員不足から解消に至っていない。

引き続き、併任解消に向け強く局総務課へ要請するとともに、必要に応じて行政専門員に出張応援してもらう等、応援態勢作りに努めて参りたい。

組合）空席ポストの業務を下位ポストの地域技術官が行っている状況であり、過剰な労働負担となっている。

負担軽減のためにポストに見合った要員を配置するよう求める。

当局) 当署の空席ポストの業務は、地域技術官や一般職員等で補うなど、職員の協力を得ながら業務を進めてきているところであり、特に若手職員には責任ある業務を担っていただいております。感謝申し上げます。

現在、ポストに見合った要員を配置するように上局に対して機会ある毎に要望しているところであるが、引き続き上局へ強く上申して参りたい。

また、限られた職員で、業務負担を軽減するためには、業務・事務の合理化・効率化が必要と考えるところであり職員の意見も参酌しつつ取り組んで参る考えである。

組合) 業務量増大に伴う要員の配置を求める。

特に土木担当については、経常業務に加え令和2年7月豪雨に伴う被害箇所が著しく負担軽減等の対策をお願いします。

当局) 土木担当に関しては、昨年度、2名体制で実行していたが地域技術官のポスト削減により1名体制による実行となり、新設工事や災害復旧工事も多数抱えていることは承知している。

これらについては、設計業務の外部委託化、各グループ間の総合応援態勢、再任用職員及び非常勤職員の活用を図り、業務が円滑に実行できる体制づくりに努めて参る考えである

組合) ベテラン職員が退職していく中で業務負担の増加など、若い職員の将来の見通しが不安である。

当局) 公務員全体についても退職者の増加により要員が不足しており、定年延長制の話も出ているところであるが、制度化には暫く時間を要する状況の中においては、現職員、再任用及び非常勤職員でバランスをとってやっていくしかないと思っている。

また、職員減少に伴い3級ポスト、森林官が不足しており、若年層の職員が役職以上の業務を担っている現状の中で、若年層職員の精神的負担も含めて軽減することが重要と考えており、サポート出来る環境づくり等に努めて参りたい。